

2013 年度キャンパス・アジア中国事前研修報告

2013 年 3 月 11 日～20 日の 10 日間、中国事前研修を実施した。参加者は中国派遣希望の 2 期生 9 名であった。この事前研修の目的は、学生に事前に中国での教育と生活について体験する機会を与え、学生の学習意欲を高め、教育効果の向上を図ることであった。

今回の事前研修は、中国人民大学での特別講義、中国語研修、現地の法律関係機関訪問（裁判所、検察院、法律事務所）、日系機関訪問（日本大使館法務部、法律事務所）、および歴史・社会見学という内容であった。

派遣予定大学—中国人民大学では、法学部の中国環境法、中国経済法の特別講義および言語文化学部の中国語研修を受けた。中国環境法の授業で、学生が中国の環境問題の深刻さや、中国環境保護法の整備現状および残された課題を学んだ。中国経済法の授業では、社会主義市場経済といった特殊な経済体制の下で形成された中国独自の経済法理論および法体系を習得した。一方、中国語の研修では、学生が初めて完全に中国語で中国語の授業を受けた。

学生にとっては、理論についての学習のみならず、法律実務に触れることも重要であるため、現地の法律関係機関および日系機関の訪問も行われた。そこで学生が各機関の組織構成、業務内容を把握し、実務をより深く知ることができた。また、中国で活躍している日本人の弁護士の先生方、日本大使館に派遣されている日本の裁判官・検察官の方々の姿を見て、学生たちが刺激を受け、自身の将来の進路について考えはじめた。

また、中国の歴史や文化をより深く理解するために、北京の名所である天安門、故宮、万里の長城を見学し、学生ガイドの英語による各所の歴史などに関する説明を受けた。さらに、社会見学として、北京の街に出て現地の人とコミュニケーションを取りながら中国での生活を体験することもできた。

①中国人民大学での特別講義



②金杜法律事務所訪問



③裁判所訪問



④西村あさひ法律事務所訪問



⑤故宮見学

